

仕事人秘録

富士市産業支援センター長

小出 宗昭氏

最新設のSOHO支援施設 入居希望、定数割れに

「地域ととも夢と豊かさ」を掲げるSOHO静岡は、創業初期から閑古鳥が鳴いた。私自身が凍りつきました。インターネットなどの環境を備えた小さな事務所を13室用意したのですが、入居したのは半分程度。静岡県がいろいろとPRしてくれたのですが反応は芳しくありません。手探り状態で生まれたのでロールモデルもありません。何をどうしたらいいのか全くわからなかったのです。入居してくれたベンチャー企業もそう思ったはず。この時、ふと気が付いたことがあります。入居企業の経営相談にのるといふことは、自分も同じ目線で一緒に走って行くことではないか。そもそもSOHO静岡は立ち上がったばかりで、仕事でなく作業だったのです。仕事は自分の意志で行い、自分で考えて行動するもの。だから楽しいのです。この気持ちは今も変わっていません。楽しいです。心のよりどころになったのは静銀の経営理念だった。「地域とともに夢と豊かさを広げます」。お恥ずかしい話ですが、入行以来この経営理念を意識したことありませんでした。SOHO静岡の仕事は地域のベネチャーターや起業しようとする皆さんとともにあります。まさに「地域ファースト」の考えを持たないといけません。私がやらなければならぬのは地域貢献であることがハッキリとわかりました。そのうえで、地域貢献が

開設まで1カ月を切っても入居希望者が定員に達しないと伝える日経新聞

閑古鳥鳴く拠点で誓う

静岡には起業を考えている人やベンチャー企業がたくさんいるはず。その人たちには相談に来てもらおうと考えました。インキュベーションでありながら中小企業支援室のような位置づけにしたのです。SOHO静岡に来てから3カ月ほど経過していたと思います。では、具体的にはどのようなことをしたのかは次回からお話します。

行列のできる経営相談所 ⑬

SOHO静岡は創業初期から閑古鳥が鳴いた。私自身が凍りつきました。インターネットなどの環境を備えた小さな事務所を13室用意したのですが、入居したのは半分程度。静岡県がいろいろとPRしてくれたのですが反応は芳しくありません。手探り状態で生まれたのでロールモデルもありません。何をどうしたらいいのか全くわからなかったのです。入居してくれたベンチャー企業もそう思ったはず。この時、ふと気が付いたことがあります。入居企業の経営相談にのるといふことは、自分も同じ目線で一緒に走って行くことではないか。そもそもSOHO

SOHO静岡は立ち上がったばかりで、仕事でなく作業だったのです。仕事は自分の意志で行い、自分で考えて行動するもの。だから楽しいのです。この気持ちは今も変わっていません。楽しいです。心のよりどころになったのは静銀の経営理念だった。「地域とともに夢と豊かさ」を掲げるSOHO静岡は、創業初期から閑古鳥が鳴いた。私自身が凍りつきました。インターネットなどの環境を備えた小さな事務所を13室用意したのですが、入居したのは半分程度。静岡県がいろいろとPRしてくれたのですが反応は芳しくありません。手探り状態で生まれたのでロールモデルもありません。何をどうしたらいいのか全くわからなかったのです。入居してくれたベンチャー企業もそう思ったはず。この時、ふと気が付いたことがあります。入居企業の経営相談にのるといふことは、自分も同じ目線で一緒に走って行くことではないか。そもそもSOHO

「見える化」できたらいいなと考えるようになった。起業もベンチャーも小さいことです。銀行という世界は小さいことを軽んじる場所があります。なかなか成果として認められないからです。SOHO静岡では小さいことを大切にしていること、思いました。ただ、実際にはきれいな事を言っている話

「見える化」できたらいいなと考えるようになった。起業もベンチャーも小さいことです。銀行という世界は小さいことを軽んじる場所があります。なかなか成果として認められないからです。SOHO静岡では小さいことを大切にしていること、思いました。ただ、実際にはきれいな事を言っている話